

会 議 録

会 議 名 称	第1回 登米市総合計画審議会
開 催 日 時	平成26年1月14日(火) 午前10時5分開会 午後零時10分閉会
開 催 場 所	登米市役所南方庁舎 2階 大会議室
議長(委員長又は 会長)の氏名	公立学校法人宮城大学 教授 徳永幸之
出席者(委員)の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永幸之 登米市子ども・子育て会議 委員 鹿野良子 登米市都市計画審議会 会長 遊佐正克 登米市景観形成会議 会長 西條多美子 登米市男女共同参画審議会 委員 須藤明美 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 所長 武藤伸子 登米市中学校長会 総務 金野 勉 特定非営利活動法人登米市体育協会 会長 佐々木 猛 登米市文化協会 理事長 鈴木敬一 登米市食生活改善推進員協議会 副会長 千葉みどり 登米市民生委員児童委員協議会 理事 關 嘉基 社会福祉法人登米市社会福祉協議会 事務局長 菅原晴男 登米市医師会 副会長 石井 洋 宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部 支部長 芳賀稔 登米地域商工会連絡協議会 会長 今野秀俊 一般社団法人登米市観光物産協会 会長 阿部泰彦 登米市環境市民会議 会員 菅原亜希子 登米市コミュニティ推進連絡協議会 会長 尾形重雄 社団法人 とめ青年会議所 理事長 齋藤 力 <div style="text-align: right;">以上19人</div>
欠席者(委員)の氏名	みやぎ登米農業協同組合 総務部長 星 郁男 <div style="text-align: right;">以上1人</div>
事務局職員職氏名	登米市長 布施孝尚 企画部 部長 田口俊郎 企画部 次長 中澤和志 企画部企画政策課 課長 佐藤 裕之 企画部企画政策課 副参事兼課長補佐 平山法之 企画部企画政策課 主幹兼企画政策係長 新田公和 企画部企画政策課 企画政策係 主査 千葉道宏 企画部企画政策課 企画政策係 主事 金澤健治

議 題	<p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 第二次登米市総合計画策定方針について 2) 登米市まちづくり市民意向調査について 3) 第一次登米市総合計画の施策検証方針について 4) 登米市建設計画の変更について <p>(協議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 第二次登米市総合計画策定スケジュールについて 2) 第二次登米市総合計画(まちづくりの基本方向等)の骨子(案)について
会 議 結 果	<p>◇会長及び副会長の互選 会長に徳永幸之委員(公立大学法人宮城大学教授)、副会長に西條多美子委員(登米市景観形成会議会長)が推薦され、了承された。</p> <p>◇諮問 市から登米市総合計画審議会に第二次登米市総合計画の策定に関する事項について諮問書を提出した。</p> <p>◇議題 ・報告事項の1)から4)まですべて了承された。 ・協議事項の1)及び2)ともに了承された。</p>
会 議 経 過	別添のとおり

<p>会議資料</p>	<p>【配布資料】</p> <p>資料1 第二次登米市総合計画策定方針について</p> <p>資料2 登米市まちづくり市民意向調査について</p> <p>資料3 第一次登米市総合計画の施策検証方針について</p> <p>資料4 登米市建設計画の変更について</p> <p>資料5 第二次登米市総合計画策定スケジュール（平成25年度詳細版）</p> <p>資料6 第二次登米市総合計画（まちづくりの基本方向等）の骨子（案）</p> <p>《参考資料1》登米市総合計画審議会条例</p> <p>《参考資料2》登米市総合計画策定委員会設置要綱</p> <p>《参考資料3》登米市総合計画体系別の主要事業の実施状況（平成24年度末）</p>
<p>発言者</p>	<p>議題・発言・結果</p>
<p>市長</p>	<p>■市長あいさつ</p> <p>○第2次総合計画は、平成27年度までの東日本大震災の復興計画を踏まえて、震災から新しくスタートし、踏み固めていく意味を合わせ持つ計画となっている。</p> <p>○これからの地域がどのようなようになるのかという視点の中で、委員には議論を頂きたい。</p> <p>○単に将来の絵を描くのではなく、地域の1人ひとりの皆さんの参加を頂き、大きな市民運動としていかなければならないと考える。</p> <p>○経済成長期の計画は行政主導の印象があるが、自助、共助、公助の取り組みは震災時の対応だけではなく、これからの地域づくり全般にわたらなければならないと認識している。</p> <p>○これまでの委員の取り組みなどで感じていることをご示唆頂きたい。</p> <p>○市民が主体となった取り組み、関わりを持って、協働のまちづくりを進め、課題解決をしていきたい。委員におかれては、市民の計画であるとの認識のもとで、計画策定に関わって頂きたい。</p>
<p>委員</p>	<p>■会長及び副会長選任（選出の方法について）</p> <p>○景観やまちづくり条例の策定などに関して、宮城大学の先生に指導を受けてまとめあげている。計画をまとめる指導力を有する宮城大学の徳永委員に会長をお願いして審議を進めてはどうか。</p> <p>○副会長には、これまで景観形成会議など様々な市の委員会に参画している西條多美子委員を推薦したい。</p>
	<p>（一同、異議なし）</p>
<p>会長</p>	<p>■会長就任挨拶、副会長就任挨拶</p> <p>○登米市の総合計画が基となって、登米市が元気に、住民が幸せに感じる街になればよいと思う。</p> <p>○総合計画は市民が自ら考え、市民が同じ方向に向かっていくべきものであり、市民の意見を伺いながらまとめていきたい。</p>

副会長	<p>○登米市を良い街にしたいとの思いで、景観形成会議の会長も努めている。</p> <p>○徳永会長をサポートしていきたい。</p> <p>○この計画を絵に描いた餅に終わらせることなく、実現に結びつけていきたい。</p>
	<p>■議事</p>
会長	<p>○審議会条例第6条2項の規定に基づき、19名の委員の出席により、会議の成立を確認する。</p> <p>○議事録の署名人は、名簿順に2名ずつ設定する。本日は鹿野委員と西條副会長にお願いします。</p>
	<p>■報告事項（事務局説明後、質疑応答を行う。）</p>
委員	<p>○市民の意見を多く聞き取り進めていくこととしているが、行政が行う意見交換会には市民の参加者が少ない。特に、地域の問題が多い地区ほど参加者が少ない。多くの市民が参加されるよう広報などの参加の呼びかけを徹底してほしい。</p> <p>○議会質問では市民の意見を聞いていることなどの過程が理解されていないことがある。地域の職員や議員が地域のタウンミーティングなどに参加いただき、意見を聞いていただきたい。</p>
事務局	<p>○できるだけ、市民に出席いただけるよう、広報などを通じて積極的な参加を呼びかけて進めていきたい。</p> <p>○タウンミーティングなどに出席いただいている議員は、同じ顔ぶれで限られているのが現状である。議会にも参加をお願いしていくが、議員の認識に依ることになると思われる。</p>
委員	<p>○(p.6の図)市民参画に「市民絵画コンクールの公募」とあり、大変結構なことだと思う。絵画だけではなく、頭の柔らかい中学生の考えを聞くフォーラムなどの会議を開催し、若い世代の意見を計画に反映させていくことが必要である。</p> <p>○地区の行事に児童生徒の参加少ない。学校側にも行事に参加させる体制を考えていく必要がある。</p> <p>○意向調査の対象者が無作為に抽出されているが、意図的な抽出も必要であると感じている。復興支援等で一時的に来られている人にアンケートを持っていても迷惑がられている。</p>
事務局	<p>○市では毎年子ども議会を開催し、各学校で自分の住んでいる地域のまちづくりについての意見を聞いている。フォーラムの開催については今後検討していきたい。</p> <p>○各学校の協力で子ども未来新聞コンクールを毎年実施しており、5年10年後の登米市の未来を壁新聞にしている。市内の大型商業施設に掲示しているので、ご覧いただきたい。</p> <p>○住民票からでは復興のために来られた方を判断するのが難しい。市民意向調査の対象者抽出については、了承願いたい。区長の皆さまには調査票の配付回収にご協力いただき、感謝している。</p>

会長	○市民協働の意識を高めていくことに対する意見をいただいた。このことについては他の委員もご意見があるかと思うが、個別に事務局へ意見をいただきたい。
	■協議事項「1) 第二次登米市総合計画策定スケジュールについて」 事務局説明後、質疑応答を行う。
委員	○策定体制で、子ども議会を大々的に行っているのであれば、絵画コンクールだけではなく総合計画の中にも入れていくことはできないのか。これによって子ども達も参加していることがアピールできると思う。
事務局	○登米市の青年会議所の協力を得て毎年開催しており、委員にも青年会議所から出席されている。今後も開催を予定されていることから、総合計画のスケジュールの中にも位置づけていきたいと考えている。
委員	○登米市の10年後の人口の推移を把握しているのか。現在と10年後の人口の差はどのぐらいになるのか。増加にはならないと思う。
会長	○将来人口を示すのはスケジュール的にいつ頃になるのか。
事務局	○人口推計は計画の中でも位置付けていくことになる。これまでの減少率の推移から算出した数値は把握しているが、それに人口のプラスと見込めることを加味して人口減少を抑えた上で総合計画での将来人口が設定される。今後、基本計画の審議などで、人口がプラスとなる要素を集めた上で設定し、説明していくこととなる。減少率の推移のみであれば、次回提示する。
会長	○人口減少の問題は、最重要課題となるので、審議会でも十分に議論していきたい。
委員	○市民の手作り、市民主体を掲げている。タウンミーティングが26年度に予定されているが、その前にも実施する予定があるのか。まちづくり基本条例の策定時、基本構想が作成されてからタウンミーティングを行って失敗した例もある。基本構想の素案を策定するまでに市民意見を取り入れていく必要があり、その開催時期が問題となる。時期的な問題では、9～10月は農繁期であることからいつも批判されている。 ○第1次総合計画策定時には、実施計画がいつ提示されるのかが問題となり、結局策定されないまま終わってしまい、消化不良な思いだった。実施計画、財政計画はどのようになっているのか。
事務局	○タウンミーティングは基本構想、基本計画がそれぞれまとまった段階でそれぞれ1回ずつ開催を予定しているが、2回目は基本構想・基本計画を合わせた総合計画として意見を伺う予定である。したがって、1回目のタウンミーティングに示す基本構想は確定したものではないのでご理解いただきたい。 ○9月と12月には議会があり、外に出づらいつ時期である。なるべく多くの人が参加できる時期の開催に努めたい。 ○審議会の審議事項は基本構想と基本計画で、実施計画の前の計画となる。財政計画は3年間の実施計画の中で、議会にも示しているのですから示すことはできるが、10年間の財政計画は示すことができない。ただし、新市建設計画の見直

	しの中では、概ね37年までの財政の見通しを示すこととなる。
委員	○タウンミーティングの参加者は議員や市職員ではなく、住民の都合で決められるものである。農家からは農繁期の会議の開催にブーイングがでる。意向調査やタウンミーティングなどの住民参加がジェスチャになっているように感じる。市民の本当の生の声を聞ける機会を創っていただきたい。
会長	○短い期間の中で、どれだけ市民の意見意向を聞くかということは、どこの自治体でも苦労されているところである。うまく意見が吸い上げられるような運営を考えていきたい。
	「協議事項 2) 第二次登米市総合計画(まちづくりの基本方向等)の骨子(案)について」事務局説明後、質疑応答を行う。
会長	○第1次総合計画を継続していく方向の中で、これまでの取り組みの検証と市民意見を加えて再編し、より実効性のある計画していくための現段階で整理されたものである。実際の内容については、検証結果や検討結果を踏まえて、これから審議会で議論いただくこととなる。
委員	○第2次総合計画の骨子について、具体的でわかりやすく、良いと感じている。
会長	○これらの資料を基に、より良いものにしていくのが審議会の役目であり、今後、市民の意見を聞きながら、より良いものにまとめ挙げていきたい。
	■その他について説明 事務局説明後、質疑応答を行う。
委員	○これからも膨大な資料の配付が想定される。資料は色紙などの見出しを付けて、見やすくしてほしい。
事務局	○意見を踏まえて、資料を見やすく対処したい。
副会長	■閉会のあいさつ ○長時間に渡り、貴重な意見をいただいた。 ○膨大な資料が配付され、時間のないところでの審議となったが、次回以降は、資料にしっかりと目を通すことができるようになるとの事なので、引き続き、審議をお願いしたい。